

Colt SD WAN



メリット

④ コスト

低コストのパブリックインターネットサービスとMPLSを組み合わせ、トラフィックを最適化

④ 耐障害性

障害発生時にはMPLSまたはインターネットのいずれかのパスをバックアップとして利用

④ サービス提供のスピード

既存のインターネット回線を利用できるため、迅速にColt SD WANサービスを導入可能

④ コントロール

アプリケーション毎にトラフィックを管理し、しきい値に基づいてトラフィックパターンをポータルから変更可能

④ 多機能CPE

オープンX86アーキテクチャを採用しているため、1台のCPEデバイスがルーター、ファイアウォール、アプリケーションパフォーマンスモニターとして機能

④ アジリティ

シンプルなオンラインポータルからWANを管理します。自社のサービスをユーザー自身が管理し、新規拠点追加や帯域幅を即時調節可能

最新技術を活用した最高品質のSD WANソリューション

WANの帯域幅を柔軟にコントロールし、アジリティおよびコスト効率を向上

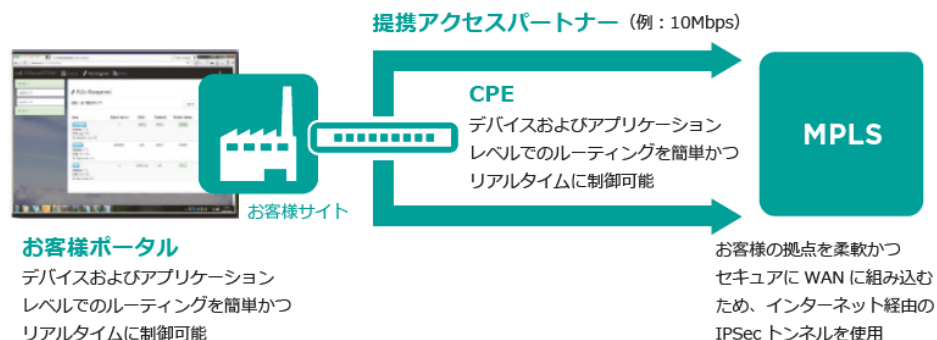
Colt SD WANでは、オンラインポータルを介して契約帯域内で帯域幅を即時にアップグレード/ダウングレードが可能です。重要度に応じてトラフィックをインターネット回線に迂回させることでWAN環境を最適化することができるサービスです。

Colt SDWANの特徴

Colt SD WANは、インターネットをビジネスネットワークとして、またWANのMPLS代替手段として使用することを可能にします。CPEは設定済みボックス (Advantech社製) が提供されます。

サイト・タイプ

- SD WAN ハイブリッド (提携アクセスパートナー回線 + インターネット回線)
- SD WAN インターネットのみ (インターネット回線)
- SD WAN MPLSのみ (オフネット/オンネット)



EU、アジア、米国に設置された複数地域の

ゲートウェイが、MPLSとインターネットクラウド間の適切なカバレッジと接続性を確保しています。Coltの主要なベンダーとのパートナーシップは、WANエッジインフラのリーダーとして知られるVersa NetworksとVMwareです。

ネットワーク機能仮想化(NFV)

ファイアウォール、アプリケーションパフォーマンスモニターなどの異なる機能が、1台の同一サーバー (Advantech製) 上のソフトウェアアプリケーションとして提供されます。

セキュアなデータ伝送

専用線を使用しない場合、すべてのWANトラフィックはIPsecトンネリングにより暗号化されません。

概要

ローカルインターネットブレイクアウト

- CPE統合型ステートフルまたはレイヤー3-7次世代ファイアウォールを機能させることにより、お客様拠点から直接インターネットへ接続することが可能です。

トラフィックステアリング (動的マルチパス)

- ベーシック：IPアドレス/ネットワーク、プロトコル、ポート番号などに基づいてアプリケーションが使用するパスを設定します。ジッター、
- ネットワーク遅延、パケット喪失レベルに基づいてアプリケーションが自動的に迂回パスを使用するように設定いただけます。
- アドバンスド：ユーザー独自アプリケーションも含む2,600のアプリケーションディープパケットインスペクションにより検知。URLによるトラフィックステアリングも可能です。
- アナリティクス (セルフサービストラフィックビュー)：ポータルからトラフィックフローを確認し、帯域幅をアプリケーションレベルで管理、インターネットとMPLSのどちらのパスを使用するかを選択いただけます。

アクティブ/アクティブオペレーション

- 2つのルートに同時にデータを流すことで、帯域幅と耐障害性を向上します。

Coltの優位性

- 業界で高く評価されたSD WANサービス
- サービスプロバイダーが常時監視する高品質なネットワーク
- グローバル品質のサービスポートフォリオ
- 多様な業界へのサービス提供実績

お客様ポータル

- シングルまたはマルチデバスをリアルタイムで設定可能。リアルタイムかつオンデマンドでご利用のネットワークサービスをコントロールいただけます。

統合型ファイアウォール

- ベーシック：標準的なレイヤー3/4ステートフルファイアウォール
- アドバンスド：レイヤー7ファイアウォールポリシー。DDoSもサポート。お客様拠点全体に適用される共通または個別ポリシー。